

春の七草



()



()



()



()



()



()

七草がゆ（七草粥）とは

日本の伝統的な行事食で、1月7日の朝に食べるおかゆのことです。

春の七草（せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな、すずしろ）を粥に入れたもので、正月のごちそうで疲れた胃腸を休め、1年の無病息災を願って食べられます。

春の七草



はこべら
(ハコベ)



ナズナ
(ペンペン草)



ほとけのざ
(コオニタビラコ)



すずな
(カブ)



セリ



ごぎょう
(ハハコグサ)



すずしろ
(ダイコン)

七草がゆ（七草粥）とは

日本の伝統的な行事食で、1月7日の朝に食べるおかゆのことです。

春の七草（せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな、すずしろ）を粥に入れたもので、正月のごちそうで疲れた胃腸を休め、1年の無病息災を願って食べられます。

春の七草(応用問題)

春の七草の名前と別名を答え、花を選び線で結びましょう。また何科の植物であるかも答えなさい。



●



●



●



●



●



●



●

●

●

●

●

●

●

●

●



_____科



_____科



_____科



_____科



_____科



_____科



_____科



_____科

春の七草(応用問題)

春の七草の名前と別名を答え、花を選び線で結びましょう。また何科の植物であるかも答えなさい。



すずしろ

(ダイコン)



ナズナ

(ぺんぺん草)



ほとけのざ

(コオニタビラコ)



ごぎょう

(ハハコグサ)



はこべら

(ハコベ)

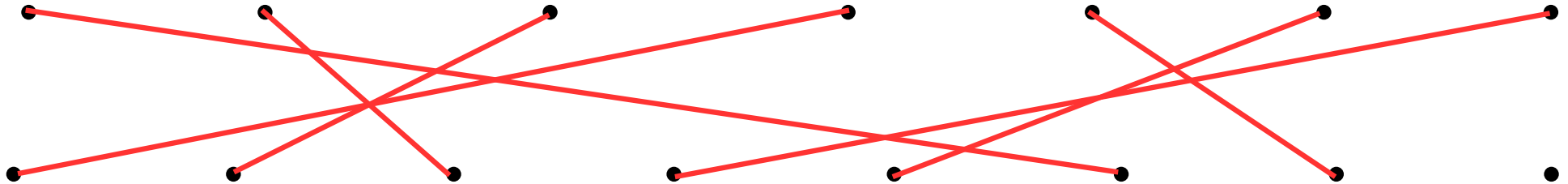


セリ



すずな

(カブ)



ごぎょう

(ハハコグサ)

キク科

(4~6月)



ほとけのざ

(コオニタビラコ)

キク科

(3~5月)



ナズナ

(ぺんぺん草)

アブラナ科

(3~6月)



すずな

(カブ)

アブラナ科

(3~5月)



セリ

セリ科

(7~8月)



すずしろ

(ダイコン)

アブラナ科

(3~5月)



はこべら

(ハコベ)

ハコベ科

(3~9月 主に春)



ホトケノザ

シソ科

(3~6月 主に春)